

## 第 68 回情報交流の会実施報告書

|      |                                                 |
|------|-------------------------------------------------|
| 開催日時 | 2025 年 12 月 6 日 (土) 13:30～18:00                 |
| 開催場所 | 会場 (シルクセンターB1F 大会議室)、遠隔 (Zoom Meeting) ハイブリッド開催 |
| 参加者数 | 15 名 (会場 11, 遠隔 4), (正会員 15]                    |

◆開会挨拶：小原支部長から、11 月理事会開催模様について紹介があった。(1)インフラテクコン技術士会賞は、高専によるインフラマネージメント技術に関するコンテストで第 5 回目を数える。(2)技術士第二次試験筆記試験の結果が集計された。20 部門で申込 27,500 名、受験 21,600 名、合格率は 11%(建設以外 19 部門では 12.9%, 情報工学は 4.4%)、来年度受験料値上げがある。(3)本部総務委員会に関東甲信 8 県支部連携検討 G が設置され、メンバーの委嘱があった。総務委員会の 9 名, 8 県支部の支部長ら 8 名で構成する。田中克己理事(電気電子)から、2026 年秋の全国大会で技術士会として、「DEI 宣言」を行うため議論があった旨の紹介があった。

◆支部からのお知らせ：小原支部長から 157 回役員会開催模様について報告があった。審議は、(1)41-テクノセミナー[次世代通信技術](3/6)、(2)開業/業務開拓研修会[知識コース](2/28)、(3)理科実験事例発表大会(3/14)参加申請、(4)「技術士への道」ガイダンス(3/4)が承認された。報告では、(1)40-テクノセミナー[フードテック](10/21)、(2)なるほど！体験出前教室@岡本小学校[KISTEC 主催](11/18)の説明があった。林田(MIX)幹事から 17-MIX 技術士交流会(2/21)の開催、嶋田(CPD)幹事から 150-CPD 講座[AI](12/20)と 1/22 開催予定の新年特別講演会(151-CPD 講座)・賀詞交換会の特別講演[台風の最新の研究]の開催開催について審議が承認された旨の報告があった。石井(情報)幹事から 69-情報交流の会(2/7)の開催と 7 月 R8 年度技術士試験や支部年次大会の日程などの説明があった。

◆CPD 講演：会員からの情報共有として、2 件の CPD 講演があった。

### 講演1「腰高式ホームドアの設計思想の紹介」

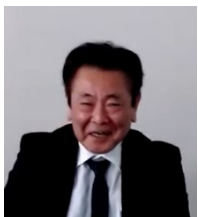
中島秀人 会員 (機械、総監) 株式会社京三製作所



ホームドアは、法整備やワンマン運転化を背景に普及が進んでいます。主流の腰高式は、悪意ある行動を除外した「通常行動における安全確保」を設計思想とし、既設駅への柔軟な設置を可能にしました。システムは統合制御盤や各種センサーで構成され、強度面では電動車椅子や幼児モデルの荷重基準を採用。日本の知見は国際規格ISO18298にも反映されており、バリアフリーと安全性向上の要として整備が加速しています。

### 講演2「競合機潰し屋の設計コンサルが導く「零戦シンドロームからの脱却」」

國井良昌 会員 (機械) 國井技術士設計事務所



日本では製造が強く主導する一方、企画・設計は相対的に弱く、十分に関与できていない状況がある。『プロジェクトX』(2000～2005)でも生産技術者の話題が目立ち、設計技術者が前面に出る回は少ないように見える。近年は設計部門の弱体化により製造側の試行錯誤が増え、設計書作成力の低下や設計審査(DR)の形骸化も指摘される。工業関連企業の大半は中小企業だが、セミナーは大企業流の重厚なDR前提プロセスに偏りがちで、しかも不具合やリコールはゼロにならない。中小企業ではDRが0～1回にとどまることも多く、少人数でも回るプロセスが必要である。そこで飲食業の短サイクル開発を参考に、企画→レシピ→材料表→試作→評価→量産とし、企画とレシピでDR、量産前に移行会議を行う。納期(D)重視の同時並行開発を支える要点は、DQD(簡易設計書)、シンプルFMEA、MDR(身の丈DR:承認/却下等を明確化)、PERTによる試作のクリティカルパス管理である。

◆ハイブリッド交流会では、R6 合格者三浦晃治(建設)、西海秀文(機械)、宮嶋英次(建設)、國井良昌(機械)、鈴木賢(衛生工学)ら各会員から挨拶があった。引き続き、ワンコイン懇親会が開催された。